

四谷ひろば擁壁改修その他工事

工事施工要領説明

1. 作業内容
2. 遵守事項
3. 工事工程表(予定)
4. 搬出入経路図
5. 仮設計画図
6. 杭工事施工手順
7. 土工事(根伐・埋戻)施工手順図

作業内容

- (1) 仮設工事
工事現場(公道側)の架空電線・ケーブルについて、防護管等を取付ける。
工事現場周囲について、道路側が高さ2m若しくは3mの鋼板製仮囲い及び2箇所
の仮設ゲートを設置し、擁壁改修工事終了まで継続して使用します。
工事現場内には、現場事務所、作業員用の詰所、資材倉庫等を設けます。
(別紙『仮設計画図』参照)
また、試掘を行い、地中の中の調査を行います。
- (2) 解体工事a
陶芸窯棟解体、校庭舗装解体及び改修に当たり事前アスベスト含有を
確認報告を行い、法令に基づき公表し、解体、処分を行います。
- (3) 解体工事b
既存石積擁壁及びフェンスを解体する為、既存樹木を先行して伐採します。
抜根については既存擁壁解体と同時施工とします。
- (4) 山留工事a
解体工事c
抜根と解体する為、校庭側にH鋼親杭と矢板により山留めを行い、
パワーショベル等の重機により石積擁壁を撤去しながら抜根を行います。
解体発生材は場外へ搬出します。
- (5) 山留工事b
土工事a
公道側には、新設擁壁の基礎工事の為、H鋼親杭と矢板により山留めを行い、
整地を行います。
- (6) 杭工事a
PHC杭プレボーリング工法
オーガビットを回転させて杭穴を掘削し、オーガ先端から根固め液を入れた後、
既製コンクリート杭を挿入して杭を築造します。
(別紙『杭工事施工手順(1)』参照)
杭工事b
BH杭工法(Boring Hole工法)
ボーリングマシンを使用し、掘削用ビットを回転させ、掘削には安定液を使用し、
安定液をポンプでビット先端に送り込み、掘削された土砂を上昇水流によって
孔口に運び、排出する。掘削終了後に鉄筋籠を挿入、コンクリートを打設し杭を
築造する。
(別紙『杭工事施工手順(2)』参照)
- (7) 土工事b
パワーショベル等の重機によりコンクリート擁壁基礎部分の掘削を行います。
発生土は、一部分が構内に集積し、余分な残土は、ダンプ車で場外に搬出し
ます。また、集積土及び場外から搬入土を使用して、埋戻しを行います。
(別紙『土工事施工手順』参照)
- (8) 躯体工事
コンクリート擁壁の構造体を築造する工事を行います。
型枠・鉄筋工事の後、コンクリートミキサー車で生コンクリートを搬入して、
ポンプ車を使ってコンクリートを流し込みます。

(9) 仕上工事 左官、金属、塗装、雑、舗装、植栽工事等を順次施工します。

(10) 設備工事 電気設備、給排水設備、ガス設備等の工事を行います。

遵守事項

- (1) 作業時間
- 原則として、午前8時00分から午後5時30分までとします。
- ア 上記時間の前後1時間は、作業の点検、準備、跡片付け、清掃の為、作業員が現場に入ります。
(午前7時00分から午後6時30分)
- イ コンクリート打設作業は、道路事情により作業時間を延長することがあります。その場合は、仮設ゲート横にある掲示板にてお知らせいたします。
- ウ 仕上工事や墨出し等、騒音、振動の発生が少ない工事や台風等非常時の緊急安全対策について、上記時間外に作業を行うことがあります。
- エ 通勤車輛や大型重機の搬入は、周辺道路の道路規制や交通渋滞緩和の為、上記時間以外に行う場合があります。
- (2) 土曜・日曜・祝日
- 原則として、土曜・日曜・祝日は作業を行いません。
工程の都合上、土曜・日曜・祝日に作業を行う場合は、騒音振動を伴わない作業に限定し、事前に掲示板にてお知らせします。
- (3) 搬出入路
- 大型車(ダンプ車、ミキサー車等)は、前面公道の一方通行規則を解除し、(四谷警察署に申請する)別紙『搬出入経路図』のとおり通行します。
- (4) 交通安全対策
- ア 現場の出入口ゲートには、交通誘導員を配置し、歩行者及び車輛の安全確保と誘導に努めます。
- イ 運転手には安全運転を心掛けるよう指導を徹底します。
- ウ 杭工事、基礎工事により、北側の公道が一時通行止めの時、誘導看板を設置し、交通誘導員を増員配置します。
- (5) 騒音・振動対策
- ア できる限り騒音・振動の発生が少ない工法や重機を採用すると共に、慎重に作業をするよう心掛けます。
- イ 解体工事や杭工事・土工事期間中は騒音・振動計を設置し管理を行います。
- ウ 車輛につきましては、アイドリングストップを励行します。
- (6) その他
- ア 土ぼこりがたたないよう、場内は適宜散水します。
- イ 周囲道路を汚さないよう、場内に洗車設備を設けます。
- ウ 道路を汚損した場合は、直ちに清掃・復旧します。
- エ 工事車輛は周囲道路に駐車させません。
- オ 現場周囲は、定期的に整理・清掃を実施します。
- カ 火気の取り扱いには充分注意し、火災の防止に努めます。
- キ 近隣の皆様へのご迷惑が最小限になるよう最善の努力を払いますが、万が一問題が発生した場合には、誠意をもって対処致します。